

Windows7 の対応に関する変更

当システムでは、従前から、セットアップ時に故意的にセットアップするフォルダを変更しないと、Program Files の建玉分析にシステムフォルダを作るようになっていました。さらに、そのシステムフォルダの下位フォルダに、「DATA」、「SETEI」のフォルダを自動的に作成して、データや、一時設定ファイルなどを格納してきました。

VISTA からは、プログラムから作成されるファイル（データファイルも含む）は、パーティクルフォルダに自動的に格納されるようになりました。VISTA までは、そのファイルが検索できないものの可視できました。しかし、Windows7 では、そのフォルダが不可視となります。

まれに、印刷時にエラーが出るようになったと言われれば、「SETEI のフォルダにあるファイルを削除してください」などの指示を出すことがあり、これが Windows7 の場合は、「SETEI」のフォルダの物理的場所をお教えすることも大変であり、システムを運営するには支障があると判断しました。

そこで、新規でセットアップする方にはあまり関係がありませんが、「DATA」、「SETEI」のフォルダを移動することとしました。Windows7 対応のバージョンをセットアップすると、別な場所に「DATA」、「SETEI」を自動的に作成し、1 度だけ、ProgramFiles にある「DATA」、「SETEI」にコピーすべきファイルがあるかどうかを見に行き、コピーするようにしました。

合同会社アーベル